



練馬東中学校

学校だより

12月

教育目標 ○心豊かな人 ○健康な人 ○考える人 ○共に生きる人

令和7年度 12月号

「ナンバーワンよりオンリーワン」

校長 岩本 真由美

令和7年も師走となり2学期も残すところあとわずかとなりました。この2学期は、合唱コンクール、各学年行事等、日々の学習活動や部活動で各学年・学級がお互いに認め合い、高め合い、支え合いながらより良い練馬東中を創り出していくとともに、一人一人が大きく成長することができました。

さて、1948年12月10日に国際連合総会において、世界人権宣言が発表され、それを受け、12月10日を「人権デー」と定めるとともに、12月4日から10日までを人権週間と設定されています。「人権」とは、一人一人が生まれた時からもっている「自分らしく生きる」権利のことで、すべての人が想い合う心によって守らなければならないものです。この一週間は、自分も友達も一人一人違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える貴重な週間です。

みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。「人権」は難しいものではなく、誰でも、心で理解して感じることができます。一人一人の違いを認めたり、自分や相手の良いところを見つけたりして、それが大切な存在であることを振り返って考えてみてください。

しかしながら、今なお、いじめやインターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別など様々な人権問題がおこっています。また、皆さんの日々の生活において、無意識に「偏見」でものを見ていることも少なくありません。(ここに書くことにも、はばかられます。)「女のくせに」「外国人だから」とひとくくりにした考え方には、差別や偏見につながります。最近では、「いじめ」や「SNSによる誹謗中傷」などに代表される、自分勝手な考えや行動、思い込みで周りの人に偏見をもったり、差別をしたりする言動が問題になっています。

そこで、いじめや差別を見逃さないようにするために、本校生徒会役員とふれあいリーダーで挨拶運動を活発にし、気持ちの良い挨拶が学校生活の様々な場面で交わされる取り組みを実施しています。そのことから、学年・学級関係なく仲間とつながり、信頼し合える関係づくりを築こうとしています。一人一人の生徒が相手の気持ちを考えて行動し、より良い学校生活が送れるようにしていきます。

いじめや差別をなくすためには、一人一人が「決して見逃さない、許さない」という意識をもち、力を合わせていくことが大切です。学校においても、人権尊重の教育を推進し、一人一人が「ナンバーワンよりもオンリーワンになる」ことができるよう教育活動全体を通して、生活できる学校づくりに努めてまいります。ご家庭でもこの人権週間を機会に人権の大切さについて、お子様と一緒に考えていただければと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、今年も残りわずかとなりましたが、教育活動にご理解とご協力、誠にありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願ひいたします。



1年校外学習

1年生が川越へ校外学習に出かけました。小江戸の町並みを歩きながら、時の鐘や蔵造りの建物など、川越ならではの歴史に触れることができました。グループごとの行動では、友達と声をかけ合い、地図を見ながら協力して巡る姿が見られました。楽しい時間を過ごす中で、仲間との絆も深まったようです。心地よい秋晴れのもと、学びと発見がつまつた充実した一日となりました。



2年「命の授業」

2年生が「命の授業」を行いました。思春期の身体や心の変化について学び、自分を大切にすることや相手を思いやることについて考える機会となりました。子どもたちは真剣に話を聞いていました。



2年ソーシャル・スキル・トレーニング

2年生が、友達との関わり方や気持ちの伝え方を学ぶ「ソーシャル・スキル・トレーニング」の授業を受けました。場面を想定した話し合いを通して、相手の気持ちを考えて行動することや、自分の思いを上手に伝える方法について学ぶ姿が見られました。日々の生活に生かしていくてほしいと思います。



1・2年クリーン運動(地域清掃)



1・2年生が、学校周辺の地域清掃を行う「クリーン運動」に取り組みました。生徒は、多くのゴミを拾い、協力しながら熱心に活動し、地域をきれいにすることの大切さを実感していました。また、当日はボランティアで保護者の皆様に見守りをご協力いただき、生徒たちの活動を温かく支えていただきました。ご協力に心より感謝申し上げます。



年末年始の機械警備について

12月29日～1月3日の期間は機械警備となり、教職員は不在となります。

期間中の来校はできませんので、ご理解とご協力を願いいたします